

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2020年	研究期間	5年間
研究課題名	難防除病害管理技術の創出によるバナナ・カカオの持続的生産体制の確立プロジェクト	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	玉川大学 農学部 学術研究所 菌学応用研究センター		
相手国	フィリピン共和国	主要相手国 研究機関	セントラル・ルソン大学
研究課題の概要			
<p>本研究は、発展途上国で深刻化し、世界的に解決が求められている課題であるバナナ・カカオの重要病害への持続的且つ効果的な防除を目的とし、微生物の分類・生理生態学、分子生物学等の基礎的研究と、それに積み上げられた植物病理学、土壌肥料学、栽培学ならびに工学などの応用を融合し、病害の予防と防除の視点から、フィリピン国において植物健康診断、病害診断薬に加え深層学習による診断および病害発生予察AIを開発する。さらに、安価に行える土壌還元消毒と栽培管理技術を併用して病害防除の対策を講じ、経済性を含めて総合的な判断による評価・改良を加え、病害防除管理技術体系を構築する。本研究を通して育成された技術者・研究者を通して普及を行い、フィリピン国の政策提案を目指すとともに、両作物の病害に資する地球規模の食料安全保障、環境への影響、バナナ・カカオの産業従事者の生活向上に貢献する。</p>			